

FAQ よくあるご質問 ファイルが開けない等

データコンテンツガード

ハイパーコンテンツガード

ハイパープラス

※各付属ソフトの詳しい説明はPDFリファレンスマニュアルをご参照下さい。

USBテクニカルサポート

管理ソフトUsbManageの「お問合せ」タブよりご質問下さい。
この場合、ご利用されている製品情報や設定内容がサポート担当
で確認する事ができます。管理ソフトUsbManageが利用できな
い場合は下記のメールアドレスにお問合せ下さい。
メールでご質問いただく場合は、①ご利用製品名②バージョン③
ご利用Windowsのバージョン④症状などをお送り下さい。

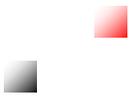
support@abroad-sys.com 平日10:00-18:00

USB製品総合サポートページ

<https://www.abroad-sys.com/CG/support/>



空き容量がない	3
コンテンツを入れる前に設定を行ってしまった ファイルが追加できなくなってしまった	4
暗号化されているファイルが開かない PDFやExcelでパスワード設定されているファイルが開かない	5
インストーラーや特定のアプリでファイルが開かない	6
フォーマットが必要と表示される	7
製品のバージョンアップ	8
USBが認識しない	9
パソコンに管理者権限がなくエラーが表示される 制限アカウントでの利用	10



- Data Contents Guard ○
- Hyper Contents Guard ○
- Hyper Plus ○

空き容量がない

非保護領域を表示している

本コピーガードUSBメモリは2つの領域があります。容量の小さい“非保護領域”と容量の大きい“保護領域”と呼んでいます。最初にUSBを挿入した場合、必ず“非保護領域”が表示されます。

この領域は空き容量は5M程度なので大きなファイルは保存できません。コピーガードがかからない。またはファイルが保存できない場合は、この非保護領域に保存されている場合があります。

非保護領域はコピーガードがかからない領域です。UsbStart.exeを実行すると容量の大きな保護領域を表示する事ができます。

領域を切り替える

“非保護領域”と“保護領域”を切り替える場合は以下のソフトを実行します。

UsbStart.exe	非保護領域→保護領域に切り替える パスワード表示をする事もできます（任意）
UsbBack.exe	保護領域→非保護に切り替える TOOLフォルダにあります。

UsbBackは、USBの抜き差しをソフト的に行うツールになります。USBの安全な取り外しと再挿入でも可能です。USBの設定時に、何度か非保護領域←→保護領域の切り替えを行う事があります。USB管理者の方が使う便利ソフトになります。配布前に削除して下さい。

※UsbBackは保護領域のルート（先頭フォルダ）に非表示で保存されています。TOOLフォルダを削除された場合は、手動でUSBの抜き差しで非保護を表示するか、パソコンの表示設定を変更して非表示ファイルを見えるようにして下さい。詳しくは本体のPDFマニュアル（リファレンスマニュアル）をご参照下さい。

Data Contents Guard	○
Hyper Contents Guard	○
Hyper Plus	○

ファイルが追加できなくなりました

原因：設定でファイル追加が禁止されている

コンテンツのファイルは先にUSBへ保存して最後に管理ソフト UsbManageで禁止設定を行います。先に設定を行うとファイル追加が禁止になり追加ができなくなります。

この場合は、USBを挿入してUsbStartが見える状態（非保護領域）で管理ソフトUsbManageを起動します。「禁止設定」タブの以下の設定を一時的にOFF（チェックを外す）にします。

●管理ソフトは

UsbStartを実行するとコピーガードが有効になります。コピーガードが有効になっていると設定変更ができません。設定を行う場合は、UsbStartを実行しない状態で行って下さい。

また、USBを挿入すると自動でUsbStartを実行する UsbQuickStartがあります。このソフトは、もう一度実行するとアンインストールします。管理ソフトを実行した場合、UsbQuickStartがセットアップされると強制的にアンインストールされます。必要な場合はもう一度UsbQuickStartをセットアップして下さい。

UsbQuickStartはsetupフォルダにあります。ダブルクリックでセットアップされ、既にセットアップされている場合はアンインストールします。

●ファイル追加の許可

UsbManageを起動します。
管理パスワード(初期値“admin”)を入力後に「禁止設定」タブを開き以下の項目をチェックします。

- ①ファイルコピーを禁止する OFF
・ハイパーコンテンツガード、ハイパープラスはファイル追加は他の設定で行われます。ONでも追加は許可できます。データコンテンツガードは他ドライブ→USBの追加は、このスイッチで制御されています。
- ②削除・書き込みを禁止する OFF
- ③USBメモリへファイル追加を禁止する OFF
(データコンテンツガードにはこの設定がありません)

- Data Contents Guard ○
- Hyper Contents Guard ○
- Hyper Plus ○

PDFやExcelでパスワード設定されているファイルが開けない

.....

アプリが入っていない？全てのPCで再生できる内臓ビューワー

●暗号化が関係している場合

ご利用のUSBメモリの製品バージョンVer7.3以降は、暗号化処理が追加されています。PDFやExcel、認証キーでファイルにパスワード設定がされているファイルは2重暗号化になってしまいファイルを開く事ができません。この場合は、管理ソフトUsbManageの「起動動作」タブにある暗号化スイッチのチェックを外して下さい。

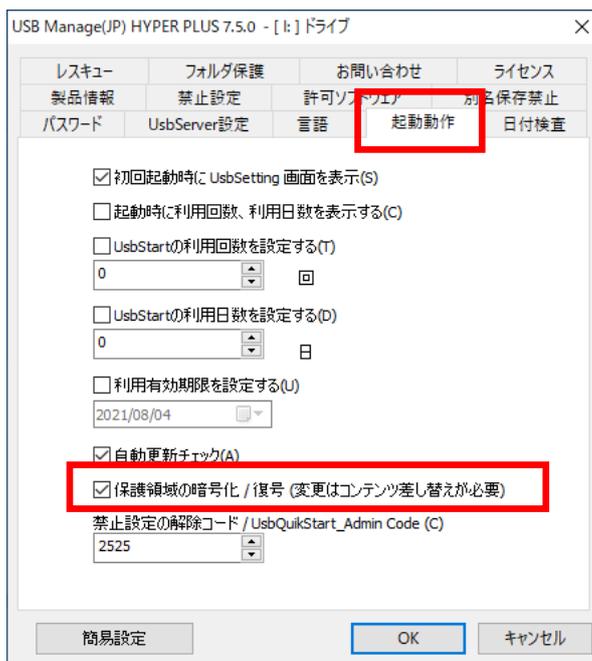
USB側の暗号化スイッチを変更した場合は、既に保存されているファイルの復号化はされない為、全てのファイルを入れ直しが必要です。

●許可ソフトウェアの設定

本USBメモリは、USBへアクセスするソフトを限定する機能があります。登録されていないソフトのUSBアクセスはできません。

管理ソフトUsbManageの「許可ソフトウェア」タブで利用ソフトを登録して下さい。製品によって（ハイパープラス、ハイパーコンテンツガード）は、“USBへアクセスするソフトを限定しない”という設定ができます。

5



- Data Contents Guard ○
- Hyper Contents Guard ○
- Hyper Plus ○

インストーラーや特定のアプリで開かない

.....

許可ソフトウェアの設定

●許可ソフトウェアの設定

本USBメモリは、USBへアクセスするソフトを限定する機能があります。登録されていないソフトのUSBアクセスはできません。

インストーラーでWindowsのコマンドが使われている場合、それらを許可する必要があります。例えば、CAB形式を解凍時にWindowsコマンドのExpandが使われている場合は許可されていないのでerrorになります。

ハイパーコンテンツガード、ハイパープラスの場合は、許可ソフトウェアの設定で”USBへアクセスするソフトを限定しない”という設定ができますのでONにしてERRORが回避できるかお試しください。

※データコンテンツガードは、PDFや動画専用で、お客様アプリやインストーラーなどには対応していません。

●ライブラリが圧縮されている

Pythonで圧縮されているライブラリがUSBへ保存されている場合はUSBの暗号化が影響して圧縮ファイルの参照ができません。USBの「起動動作」タブにある暗号化をOFFにしてからコンテンツを再度入れ直して下さい。

※暗号化スイッチを変更した場合、既に保存されているファイルの暗号化状態は自動では元に戻りません。必ず差し替えが必要になります。



- Data Contents Guard ○
- Hyper Contents Guard ○
- Hyper Plus ○

フォーマットが必要と表示される

.....
アプリが入っていない？全てのPCで再生できる内臓ビューワー

●フォーマットは原則不要

本USBメモリは、フォーマット済みで出荷されています。ご利用者様側でフォーマットは不要です。フォーマットされるとUSBに非表示で保存されているシステム情報が消えてしまうので復旧が面倒になります。

不具合の多くは、フォーマットでは解決ができない為、USBのテクニカルサポートに連絡をして下さい。

※ファイル名やフォルダ名が文字化けして表示される場合は、ファイルを管理しているインデックス領域の破損なのでフォーマットが必要な場合もあります。詳しくはPDF説明書またはUSBのテクニカルサポートにご相談下さい。

●USBのバックアップで安心

大切なコンテンツが入っている場合は、USBのバックアップ機能を使ってバックアップを行って下さい。

UsbStart→左側[SETTING]ボタン→保守メニュー（UsbSetting）→バックアップ

※バックアップはCドライブ側にUSB全体イメージを保存して、その後圧縮されます。一時的に、USB容量の空きエリアが必要です。

4GBのメモリの場合、バックアップに約5分、復元に約20分かかります。時間はCP性能によって変わりますので目安にして下さい。

物理的な破損以外は完全にバックアップ時点に戻すことができます。

USBの破損が懸念される場合は、USBのテクニカルサポートに相談して下さい。USBの修理後に復元を行える場合があります。

- Data Contents Guard ○
- Hyper Contents Guard ○
- Hyper Plus ○

USB製品のバージョンアップ

バージョンアップでトラブルを解決する

WindowsUpdateなどでWindows仕様が変わってしまい、利用ができなくなる場合があります。この場合は、USBメモリ更新でバージョンアップを行います。

●USBメモリの自動更新

ご利用のUSBメモリは自動更新機能があります。ただし、1か月に1度しか更新チェックが行われませんのでタイミングによっては自動更新の案内が表示されていない場合があります。

この場合は、UsbStartを実行してウィンドウ下部の”更新チェック”にチェックを付けてから[START]ボタンをクリックします。



詳しい説明

https://www.abroad-sys.com/USB/2004/10_20H2.html#update

UsbStartで上記画面が表示されない場合

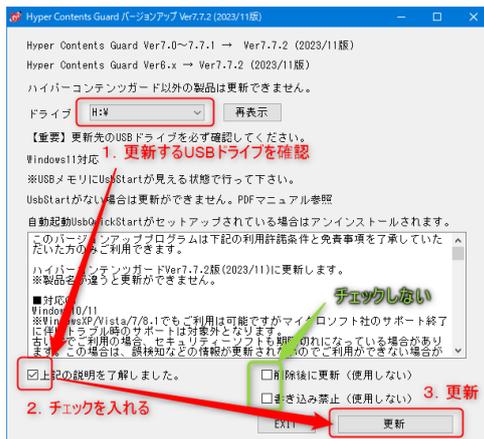
非表示設定がされていると表記画面は表示されません。この場合はシフトキーを押しながらUsbStartをダブルクリックで実行すると表示されます。

●更新ソフトのダウンロードと適用

オフラインでご利用の場合や企業でお使いの場合は、自動更新がご利用できない場合があります。この場合は、更新ソフトをダウンロードし適用して下さい。

https://www.abroad-sys.com/USB/2004/10_2004.html

更新ソフトで改善可能な状況かは、更新する前にUSBテクニカルサポートにご相談下さい。



- Data Contents Guard ○
- Hyper Contents Guard ○
- Hyper Plus ○

USBが認識しない



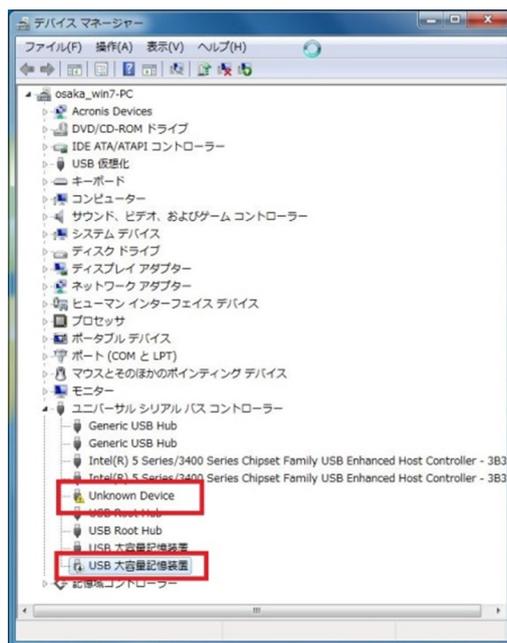
USBがWindowsデバイスマネージャーでエラーが発生していると一時的に認識されないで無反応になる場合があります。この場合は、Windowsデバイスマネージャーを開いてUSBの項目を確認して再認識操作を行います。

Windowsデバイスマネージャーの起動

Windowsスタートアイコンで右クリック→システムメニューを表示させてメニューよりデバイスマネージャーを選択します。

Windowsデバイスマネージャー

ユニバーサル・シリアル・バスコントローラー(USB)をクリックしてアイコンがエラーになっているか確認します。



エラー表示のアイコンは、右クリック→メニューの再認識を選ぶ。または、エラーの表示されている項目をクリックしてDELキーで削除します。削除したデバイスは再認識させると新規でセットアップされます。この操作は領域単位、領域が認識されない状態で行います。ご利用のUSBメモリは1本のUSBに2つの領域があります。保護領域側で認識されない場合は、UsbStartを実行して領域が認識されない状態で行って下さい。

●USBの安全な取り外し

この状態はUSBへ書き込み中に抜かれると発生します。USBメモリにはWindowsシステムやご利用のセキュリティソフトでも書き込みを行う場合がありますので、USBを取り外すときは取り外し操作を行い、右下に「安全に取り出せます」の表示を確認してから取り外して下さい。

Data Contents Guard	○
Hyper Contents Guard	○
Hyper Plus	○

パソコンに管理者権限がなくエラーが表示される 制限アカウントでの利用

本USBメモリは利用にWindowsの管理者実行権限が必要です。
Windowsにログインしたときに制限のあるアカウントでログインされた場合は新規のソフト利用が制限されています。

この場合は、USBのsetupフォルダにあるUsbQuickStart.exeを事前にセットアップすると制限アカウントでも利用可能です。

ただし、UsbQuickStartの実行には管理者権限が必要なので、情報システム部門にご相談いただくか、規定の社内ルールで申請を行って下さい。

大きな組織の場合は、申請許可が煩雑になっている場合があります。この場合は、持ち出し用のノートパソコンや社内ネットワークに接続しない管理者実行系のあるパソコンなどを利用して下さい。

※新規のソフトセットアップができないパソコンは制限アカウントで利用されています。この問題はお客様側のパソコンのセキュリティポリシーの問題で新規ソフトは制限されて運用されています。正規の社内手順で申請を行うか、制限のないパソコンでご利用下さい。

※UsbQuickStartは、制限アカウントの利用以外にUSBを挿入するとUsbStartを自動実行する機能があります。

セットアップセットアップや詳細仕様はPDFのリファレンスマニュアルをご参照下さい。

エラー表示のアイコンは、右クリックメニューの再認識を選ぶ。または、エラーの表示されている項目をクリックしてDELキーで削除します。削除したデバイスは再認識させると新規でセットアップされます。この操作は領域単位、領域が認識されない状態で行います。ご利用のUSBメモリは1本のUSBに2つの領域があります。保護領域側で認識されない場合は、UsbStartを実行して領域が認識されない状態で行って下さい。

●USBの安全な取り外し

この状態はUSBへ書き込み中に抜かれると発生します。USBメモリにはWindowsシステムやご利用のセキュリティソフトでも書き込みを行う場合がりますので、USBを取り外すときは取り外し操作を行い、右下に「安全に取り出せます」の表示を確認してから取り外して下さい。